

ライトピンク

成人向



# 淫魔の宴 1

これは！



魔王軍に  
手配されている  
勇者ではないか

我々魔王軍の  
研究アジトが  
嗅ぎ付けられたのか？



まさか！  
このアジトは  
魔王軍ですら  
一部の者しか  
知らないのだぞ！

いやむしろ  
これはチャンスだ  
奴は今一人  
何とかして…



無理だ  
奴の実力は  
分かっている

わかっている  
それに我々魔王軍  
生物研究班の役目は  
魔道生物の  
研究をすること  
奴を倒すのは  
真の目的ではない

奴を捕獲し  
研究材料とするのだ  
我々の現時点での  
理想である  
ドラゴンの騎士



その  
サンプルである奴さえ  
我々の手元に入れば…

しかし  
どうやって

正攻法では  
無理だ…  
しかし  
策を用いれば



もしもし？  
旅のお方…



なんですって？

森へ薬草を  
取りに行った娘が  
魔王軍に掴まり  
捕われてしまったのです



名のある騎士様と  
お見受けします  
どうか  
助けてください  
お願いします！

どうしたん  
ですか？



魔王軍のアジトは  
この森の奥の  
洞窟にあります

どうかご無事で…



わかりました  
安心してください  
必ずオレが  
助けてきます。

ありがとうございます  
できる限りのお礼は  
必ずさせていただきます



その娘を返せ!

それはお前の出方次第だ

この娘を助けたければその剣を捨ておとなしくしろ

う...



あゝあ  
とうとう  
捕まっちゃった...

ダイ君  
かわいそう...



なかなか聞き分けがいいな



似てるけど  
ちよつと  
違うのよ

え？

フフフ…  
ざーんねん



マアム！



レオナ！



ははは

ぷん  
ぷん  
♡



ははは

ほ  
ほ  
ほ



うわっ

！！



クククよくできているだろう？  
この二人は本物の細胞を  
採取して我々が作り上げた  
コピー人間だ。



我らに忠実という点を除けば  
性格・行動・体・すべて  
オリジナルと同じだ…

どう？ダイ君  
わたしの肉体  
結構いいでしょ？

果たしてお前に  
その二人が拒めるかな？

あら  
胸だったら  
私のほうよね？

カ  
カ

カ  
カ

カ  
カ



フフツ...

うわっ!  
何をするんだ!

言うことを聞かせるには  
この世は  
力づくだけでは  
ない  
と言うことを  
教えてやろうと言うのだ

なにや、



ああ...

フフフ...

ひい



この二人、オスから  
搾り取る為の淫技は  
オリジナルの比較には  
ならんぞ  
まだ女も知らず  
のいかぬお前が  
どこまで  
耐えられるかな?

お前達の思い通りに  
なるものか!



あらあら  
こんなに羨んじやつて  
今から私が  
堅くして  
あげるわね  
ダイ...

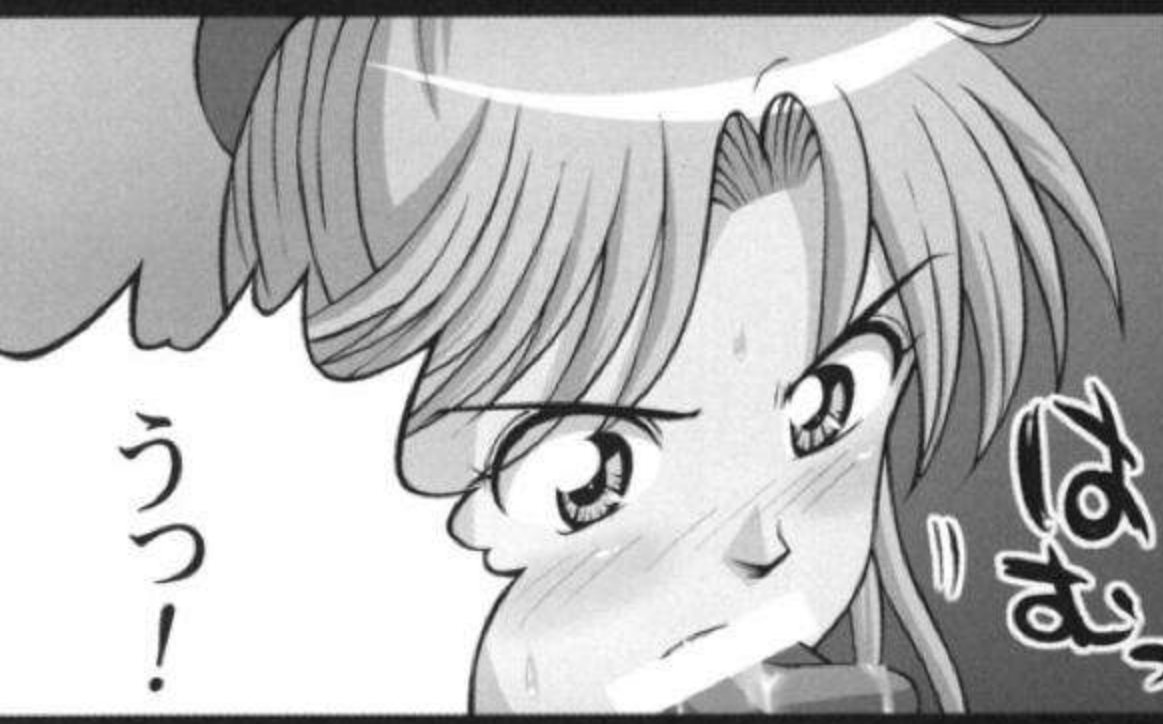
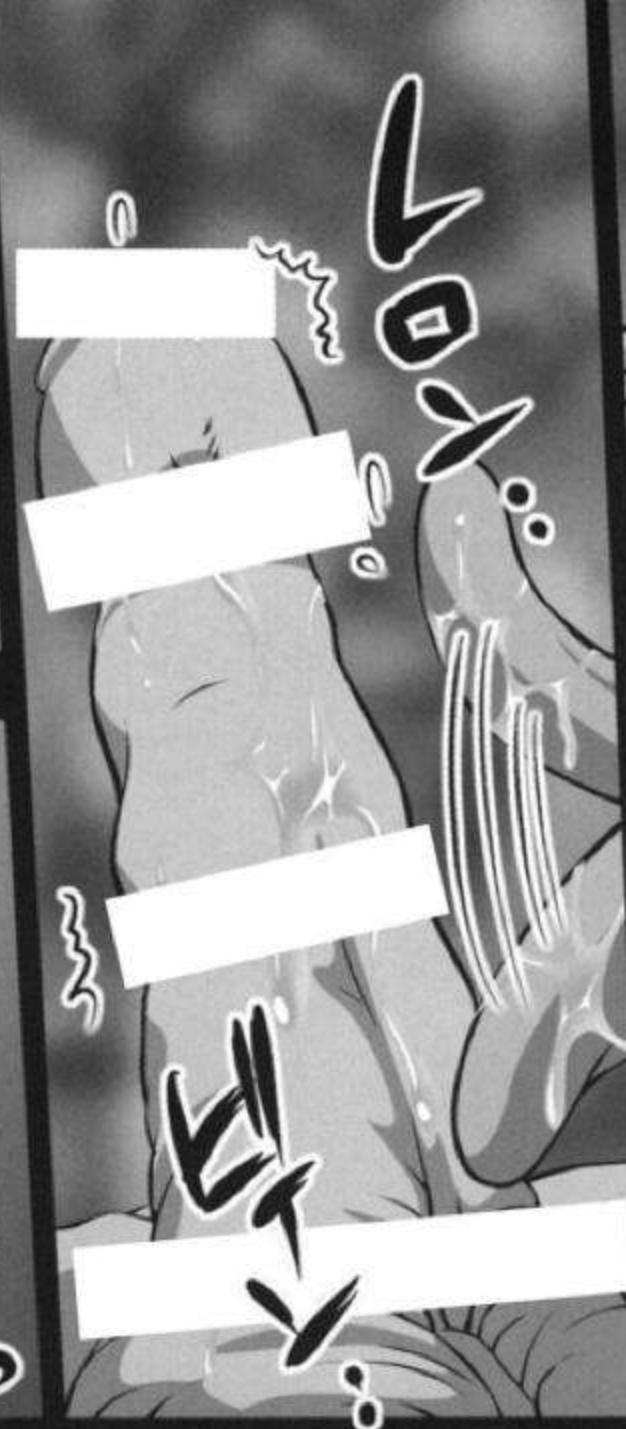


そんなに  
ムリしなくて  
いいのよ  
ダイ君



あつ!







あらあら  
勇者様はまだ  
皮をかぶっているのね♪

じゃあ私が  
キレイに剥いて  
あげるわ♥



ああっ!



んふ♥

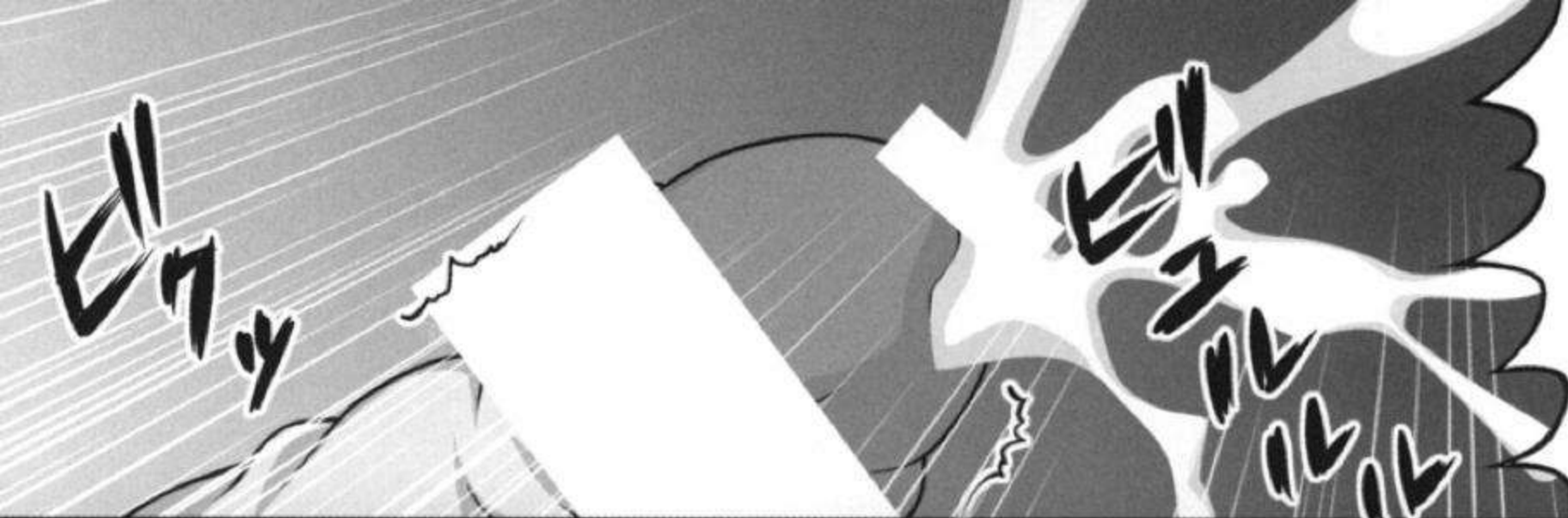


ふふふ  
ほーらキレイに  
剥けた♥



ふふ  
マアムの口の中  
気持ちいいでしょう?  
そのまま出して  
しまってもいいのよ

あ...が...



アア  
アアアア!



ふふふ…  
おいしかったわよ  
ダイ

ドラゴンの騎士の  
エクスいただきね♡



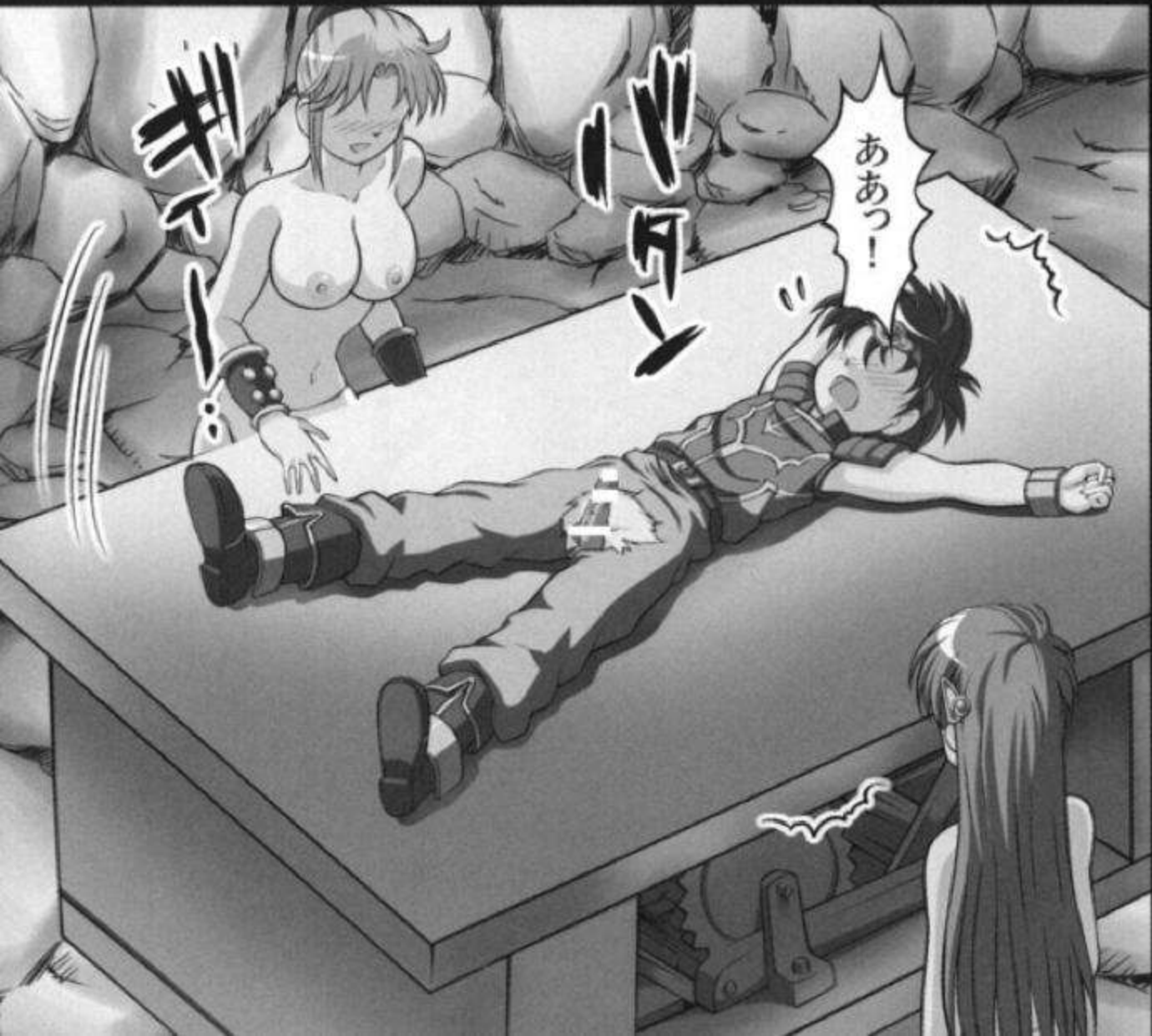
ゴゴゴゴゴゴ...



じゃあ次は  
もっといいことを  
してあげるわ♡

ぷるん









今から私の膣内なに入るわよ〜♡

あ…あ…



お前は  
レオナ  
なんかじゃ  
ないッ!



ふふ  
どう?  
私の  
膣内なは?



ああ  
ああ  
ああ

あら失礼ね  
私はレオナの完全な複製  
なんですからね

本物のレオナだつて  
これと同じよ  
ほーら全部入っちゃった♪

わかるでしょ？  
私の膣内が  
ダイ君のチンポをキュウキュウ  
締めつけているでしょ？

こんなの  
レオナじゃ  
ないっ！

うう……う……

同じよ  
ダイ君のチンポを受け入れて  
ギュウギュウ締めつけて欲しが  
る  
本物のレオナだつて  
同じなのよ

ち……が……



違わないわよ

ず

本物もこうやって  
ダイ君のチンポを締めつけて  
搾り取るのよ!

うわあああ  
やめろっやめろっ!

ず

何を言っているの?  
気持ちいい  
くせに...

ず

生の女の肉感が  
チンポに伝わって  
くるのが  
わかるでしょう?

これが  
女よ!

ず

ず

ず

ず



そうよ  
もつと私の  
膣内に  
注いで〜っ♡

んう…遠慮なく  
全部出してね♡

ダイ君…♡

ひゅるるるる

ふふ  
気持ち良かった  
でしょう♡  
ダイ君♡

んんん…

それじゃあ  
次は私ね♥

ニッ

カッ

カッ

...



■ おくづけ ■

作品名	勇者の淫夢地獄 1
巻数	018
発行	ライトピンク
連絡先	<a href="http://www.r-pink.jp/">http://www.r-pink.jp/</a>
協力	青空市場 ( <a href="http://www.aozora7.com/">http://www.aozora7.com/</a> )
発行日	A. D. 2009年10月31日
原案	加山 一角
作画	尚 たかみ
編集	ろーどっく2号
印刷	日光企画

